



2025年5月13日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役 高 橋 勇 造
(コード番号：3840 東証スタンダード市場)
問合せ先 取 締 役 星 淳 行
TEL：03-6823-6664 (代表)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異

2025年3月期通期(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,982	百万円 △38	百万円 △34	百万円 △35	円 △0.63
今回予想(B)	2,253	△208	△228	△276	△4.36
増減額(B-A)	△729	△170	△194	△241	
増減率(%)	△24.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	2,320	△172	△168	△175	△3.31

2. 業績予想と実績との差異の理由

当事業年度におきまして、当社グループの通期業績予想と実績に差異が生じました。差異が生じた理由につきましては、売上高に関しては、①グループ中核事業であるビューティ&ウェルネス事業における売上が、TVショッピング販売イベントの開催が、当初の計画通りに開催することができなかったことや新商品のリリースが遅れたことなどにより、販売が翌期以降となったため、当初の売上見込みを下回ったこと、②再生医療関連事業において、主要な売上を構成しているB to B取引における原料売上が顧客側の購買計画の見直しにより、当初売上予算を大幅に下回ったこと、③サステナブル事業において、新型の微細藻

類連続培養装置並びにスマート農業における環境センシング機器や制御システムの開発遅延が生じたこと、④2025年2月に完全子会社化したAI・テクノロジー事業を担う株式会社三和製作所において、当初予定していた放射線測定装置の受注が翌期以降となったこと、以上の4点が主な要因となっております。一方、費用面においては、各セグメント事業における売上原価並びに販売管理費については当初の予算を下回りましたが、当社において新規事業（インベストメント事業）およびコーポレート部門の体制整備・強化に伴う業務委託費等の販売管理費が当初予算比において約10%の増加したことや2024年11月に実施した第三者割当増資並びに新株予約権発行に伴う株式交付費用28,726千円を営業外費用に計上したことに加え、株式会社RMDCの細胞培養加工施設の移転費用14,721千円を特別損失に計上したことなどにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各予想数値が当初予定を下回る見込みとなり、通期業績予想と実績に差異が生じる結果となりました。

当社は2024年11月26日に公表した中期経営計画にそって、当社および各事業セグメントの体制整備・強化、営業活動を推し進めております。2025年3月期において取組着手したものの翌期以降に持ち越しとなった事項については、2026年3月期以降の業績予想に織り込んでまいります。

※本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上